



並木利彦 (文責)

Q 車観光の回遊動線が弱く、鉄道中心の観光設計ではないか



A 車利用者も含めた回遊は一定程度可能と認識している

質問

グリーンシーズンにおける関東圏からの観光客の人流は把握しているのか。

答弁

観光まちづくり機構が導入したスマートフォン位置情報分析「おでかけウォッチャー」により把握している。今後、来訪元や時期などを分析し、観光戦略に活用する。

質問

車と新幹線の来訪割合は把握しているのか。

答弁

現状のデータでは交通手段までは把握できていない。今後、把握方法を検討する。

質問

関東圏の観光客がグリーンシーズンは群馬に流れている傾向はあるのか。

答弁

現時点では把握していない。また、他地域との因果関係の特定は難しい。

質問

グリーンシーズン強化には車来訪者の増加が重要ではないか。

答弁

夏季観光の強化は重要課題であり、情報発信

やスキー場の夏季活用などにより対応していく。

質問

関越道を通過する観光客が多い問題をどう考えるか。

答弁

観光客は目的地を持って訪れるため、湯沢が選ばれる魅力づくりが重要であり、情報発信を強化する。

質問

IC周辺の観光ハブ不足や回遊動線の弱さについての認識は。

答弁

課題と認識しており、モデルルート設定や滝沢駐車場を起点とした回遊強化、自転車導入などを進める。

質問

関越自動車道を活用した観光戦略は。

答弁

車来訪者の重要性を踏まえ、1泊2日の滞在型観光の提案や情報発信、ホスピタリティ向上に取り組む。

質問

AI、データセンター産業と地域産業の関係をどう考えるか。

答弁

観光・農業とデジタルの連携は重要であり、地域に利益のある取り組みは支援していく。